

民主
PRESS MINSHU

号外
埼玉県(第1区版)
2010年2月14日号
(No. 120)

国政・新時代!

民主党プレス民主編集部
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988(代表)
民主党埼玉県連広報局
さいたま市浦和区高砂3-6-16
電話 048-833-3500
FAX 048-833-3503
URL http://minshu.org
E-mail info@minshu.org

～たけまさ公一衆議院議員国会レポート～ **第120号**



たけまさ公一

■ 予算委員会にて質問に立つ(2月2日)

■ 来年度予算のポイント②ひもつき補助金を一括交付金化

■ 民主党埼玉県第1区地方議員並びに公認決定者

**国会見学会
開催!**



日時: 3月16日(水)、4月15日(金)、5月18日(水)
午前10時30分～午後2時予定
集合場所: 衆議院第二議員会館ロビー受付横
(東京都千代田区永田町1-7-1)
参加費用: 1,000円(昼食代等・受付時にいただきます)

※詳細は下記事務所までお問い合わせください

■ 第一区総支部党员・サポーター大会 ■

日時: 平成23年3月6日午後2時より
場所: 市民会館うらわ 603・605室
参加費用: 無料

※党员・サポーター登録済みの方。会場にて、
党员・サポーターのご登録を頂ければ、参加
頂けます。

■ 党员・サポーター募集中! ■

あなたも民主党に参加しませんか?

民主党の基本理念と政策に賛同する18歳以上の
方でしたら、どなたでもなれます。

代表選挙に参加することができます!

 **民主党**
党员: 年間6,000円
サポーター: 年間2,000円

お問い合わせ、お申し込みは下記へ

TEL:048-832-3810 FAX:048-832-3846

E-mail:voice@takemasa.org

【衆議院議員 たけまさ公一プロフィール】

- 昭和36年(1961年)生まれ
- さいたま市立木崎小、木崎中、県立浦和高校、慶應義塾大学法学部政治学科卒業
平成元年松下政経塾卒業
- 平成11年4月、埼玉県議会議員2期目当選 ●平成21年8月30日、衆議院議員4期目当選
- 鳩山内閣外務副大臣、第一期菅内閣外務副大臣
- 【国会】予算委員会理事、海賊テロ特別委員会理事
- 【民主党】常任幹事、選対委員長代理、地域主権調査会長

■ たけまさ公一事務所



〒330-0074
浦和事務所 さいたま市浦和区北浦和3-6-11 松本ビル2F
電話 048-832-3810 FAX 048-832-3846

〒339-0057
岩槻事務所 さいたま市岩槻区本町5-5-12
電話 048-749-6801 FAX 048-749-6802

〒100-8982
国会事務所 千代田区永田町2-1-2 衆議院第2議員会館312号室
電話 03-3508-7062 FAX 03-3519-7715

ブログ「今日のたけまさ」日々更新中!

<http://ameblo.jp/takemasa-koichi/>

皆様のご意見・ご要望をお待ちしております
voice@takemasa.org

予算委員会にて質問に立ちました(2月2日)

衆院予算委員会が2日開かれ、私が質問に立ち(1)財政規律(2)新成長戦略(3)地域主権改革(4)電波のオークション制度をはじめとする規制改革(5)子ども手当、高校授業料無償化(6)硫黄島・沖縄遺骨収集—について、菅直人総理をはじめ関係閣僚の見解を質しました。



私は、経済どん底の中での政権交代から1年半、景気の回復、経済成長を最優先に取り組んだ結果、有効求人倍率、完全失業率など各種経済指数で上向きな数字が出始めているとその成果を強調したうえで、財政規律を堅持しなければいけない状況の中で今後の経済見通しについて菅総理に所見を求めました。

菅総理は、2009年の政権交代スタート時には、麻生政権で見通した税収が9兆円も落ち込む中、当面の景気を含めた景気刺激と長期見通しでいかにして経済成長につながるかに重点を置いて取り組んできたと説明。来年度予算では財政規律をぎりぎり守りながら景気刺激的な方向で予算を組んだとして、現下の景気上昇を長期の経済成長につなげることが重要であると主張。「ライフ(医療・介護など)・イノベーション」「グリーン(環境など)・イノベーション」「アジア経済戦略の推進」を柱とする新成長戦略実現に向け取り組んでいくと述べ、また、国債格付けについては、「日本の財政のマーケットへの信認が保たれ得られるような道筋を歩むことがいい影響を与えると思う」と述べました。

また地域主権調査会長として取り組んできたいわゆるひもつき補助金のひもを取り払った一括交付金・地方交付税法案が通らなかった場合は、どうなるのかということ問い、片山国務大臣が「地方の経済の停滞を一層進めることになりかねない」と答え、地方の財政運営に支障が生じないように国会での予算関連法案の早期成立を希望しました。

野党時代から三度の法案提出を行っている電波のオークション制度に関して、国庫収入にも繋がり二十兆円規模のビジネスで、二十年後には八十兆円にもなり、ビジネスとしても大変飛躍の期待をされる電波オークションへの積極的な対応と閣議決定にのっとり、その実施と透明性の確保などを求めました。



来年度予算のポイント②ひもつき補助金を一括交付金化

地方主権・地域主権が民主党の一丁目一番地の政策の一つであり、政権交代が成し得た大きな成果の一つが地域自主戦略交付金(一括交付金化)です。地域の自由裁量を拡大するために、各府省所管の都道府県向け投資関係の補助金等(例えば、社会資本の整備、自然環境の保護、農山漁村の活性化、交通安全施設の整備、学校施設の整備など)の一部を内閣府の予算として計上し、23年度は都道府県分としてまず5,120億円(うち沖縄県分は321億円)を一括交付金化しました。また平成24年度はさらに、市区町村分としてさらに約5,000億円で、1兆円強の一括交付金化を行います。

この一括交付金化のポイントとしては、各府省の枠にとらわれず使えるようになったことで、箇所付け等の国の事前関与を廃止し、事後のチェックを重視します。各府省の全国統一の基準ではなく、それぞれの地域の実情にあった投資的資金を都道府県が無駄なく使えるようになることで、限られた財政状況の中で効率的な投資資金の活用で地域経済に活力を与えることが見込めます。

民主党埼玉県第1区地方議員並びに公認決定者

平成23年度は地域主権元年と言われています。地域の事は地域が決める。その地方分権、地域主権の受け皿が地方議会である埼玉県議会、さいたま市議会です。今まで以上に権限が大きく、そして責任も重くなります。

地方分権、地域主権の担い手として自信を持って推薦できる公認決定者が民主党埼玉県第一区総支部では下記の11名です。

昭和33年生まれ
民主党・無所属の会
警察危機管理委員会
公社事業対策特別委員会
浅野目 義英(県議・浦和区)

**県政、市政で
「国民の生活が第一」
を実現します!**

埼玉県議会議員公認決定者
昭和51年生まれ
民主党埼玉県第1区総支部幹事
松岡 耕一(緑区)

埼玉県議会議員公認決定者
昭和54年生まれ
民主党埼玉県第1区総支部幹事
井上 将勝(見沼区)

昭和30年生まれ
民主党・無所属の会
さいたま市議団団長
民主党埼玉県連 副代表
市民生活委員会
神崎 功(市議・緑区)

昭和42年生まれ
民主党・無所属の会
さいたま市議団
まちづくり委員会
原田 健太(市議・浦和区)

昭和35年生まれ
民主党・無所属の会
さいたま市議団
文教委員会委員長/予算委員会
高野 秀樹(市議・岩槻区)

昭和55年生まれ
民主党・無所属の会
さいたま市議団
市民生活委員会
三神 尊志(市議・見沼区)

さいたま市議会議員公認決定者
昭和40年生まれ
民主党埼玉県第1区総支部幹事
小柳 嘉文(浦和区)

さいたま市議会議員公認決定者
昭和36年生まれ
民主党埼玉県第1区総支部幹事
武田 和浩(見沼区)

さいたま市議会議員公認決定者
昭和55年生まれ
民主党埼玉県第1区総支部幹事
末広 慎二(岩槻区)

さいたま市議会議員公認決定者
昭和35年生まれ
民主党埼玉県第1区総支部幹事
石岡 昌生(緑区)